

けんぱく ワークシート 2019年版

県立博物館の常設展を見て、問題に答えましょう。

()年()組 名前()

きのくに－和歌山県の歴史

現在の和歌山県内に、人々が住み始めたのは、今から約3万年前の旧石器時代のことでした。その後、奈良時代からは、紀伊国と書きあらわされるようになります。

のちに紀州ともよばれた紀伊国は、現在の和歌山県に三重県の南部を加えた大きな国でした。

戦国時代の終わりごろ、和歌山城が築かれ、その城下町を和歌山とよぶようになり、明治4年(1871)の廃藩置県の後、県の名前も和歌山になりました。

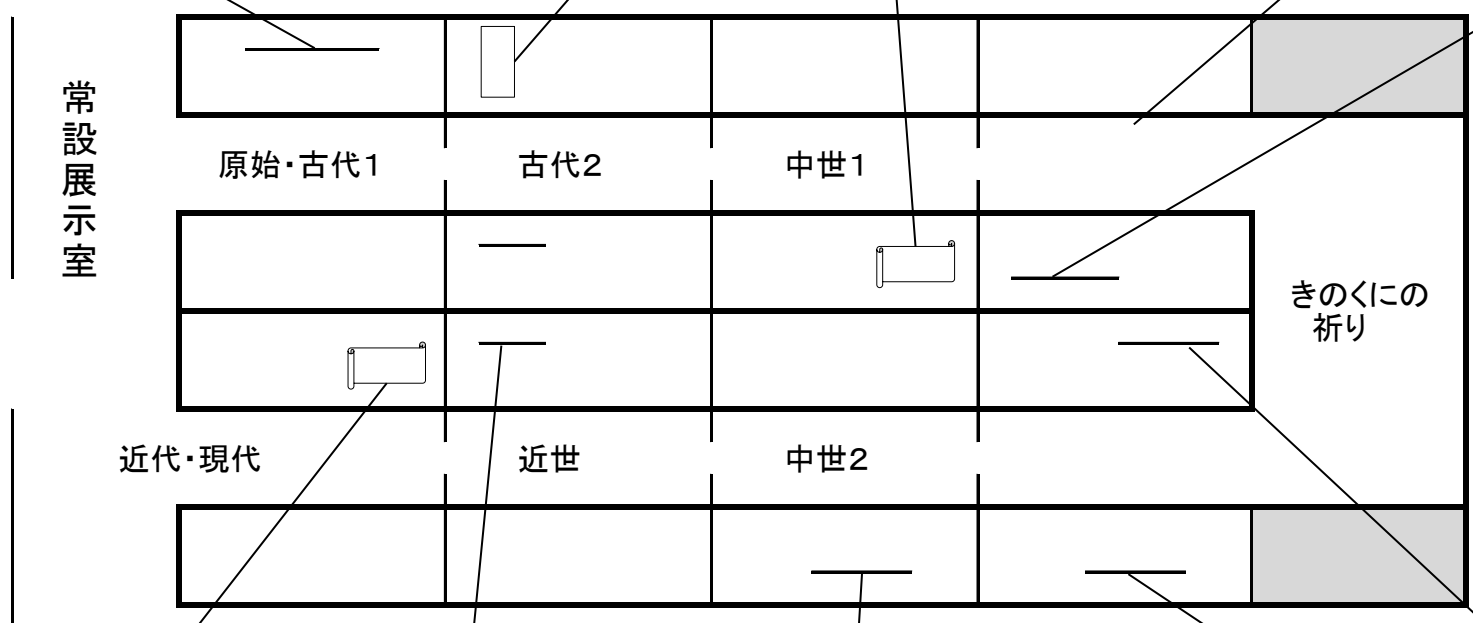
【常設展や企画展、2階の展示を見た感想や印象を書いてください。】

記念スタンプをおしてね。

【夏休み企画展について】

今回の企画展「南楽音楽文庫の至宝」は、ヨーロッパのむかしの楽譜を展示しています。ベートーヴェンがみずから書いた楽譜をはじめ、手書きの楽譜や印刷された楽譜を見ることができます。これらの楽譜は、紀伊徳川家16代の徳川頼貞という人が、今からおよそ100年前にコレクションしたものです。これらは、企画展示室で展示しています。

問題 1 やよい 弥生時代になると、3種類の形の土器がみられるようになります。それぞれ何という種類でしょうか？ [答え] () () ()	問題 2 奈良時代の人々が納めた税のうち、成人男性が、地域の特産物を納めるものを何といいますか？(きのくにでは、塩を納めることが多かったようです。) [答え] ()	問題 3 あてがわのしょう 阿氏河荘の農民は地頭・湯浅氏のひどい仕打ちを文書で訴えました。その文書の特徴は何でしょうか？ [答え] ほとんどの文字が()で書かれています。	問題 4 きのくにでは古くから観音菩薩をまつるお寺が開かれています。それらのお寺を巡るコースを何とよびますか？()に入る数字を教えてください。 [答え] 西国()ヶ所	問題 5 空海(弘法大師)が高野山を開いた後、守護神として丹生都比売神社などにまつられた2人の神様は、何という名前ですか？ [答え] ()明神 ()明神
---	--	---	--	--


問題 6
 くまの 熊野地方には、熊野三山という3つの霊地があり、それぞれ中心となる神社がありますが、その名前を書いてください。
 [答え]
 熊野()大社
 熊野()大社
 熊野()大社

問題 11 和歌山藩では、1873年の全国徴兵令に先がけて、20歳になった男性を士族・平民に関係なく徴兵する制度が行われました。この制度は、何とよばれているのでしょうか？ [答え] ()制	問題 10 きいどくがわけ 紀伊徳川家は14代にわたって紀伊藩主をつとめました。そのうち2人は江戸幕府の将軍になっています。それは、誰と誰でしょうか？ [答え] 徳川() 徳川()	問題 9 「戦国時代の勢力配置」のパネルを見ると、この時代のきのくにでは、特徴的なことがうかがわれます。それは、どのようなことでしょうか？ [答え] { }	問題 8 なちさんけいまんだらす 那智参詣曼荼羅図の中で、熊野那智大社の屋根には、ある鳥がとまっています。その鳥は、熊野の神のお使いとして知られていますが、それは何という鳥でしょうか？ 答え ()	問題 7 くまのさんざん 熊野三山へ向かう熊野古道(参詣道)沿いには、数多くの小さな神社があり、人々はこれらにもお参りしながら熊野へ向かいました。これらの神社は何とよばれますか？ 答え ()社
--	--	---	--	--